

会 議 録

会議名	令和元年度 第2回 垂井町地域公共交通会議
日 時	令和2年1月14日（火）10:00～11:15
場 所	垂井町役場 2階 大会議室
出席者	委員総数15名中、13名（うち代理6名） 事務局3名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長あいさつ 2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について 3. 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・垂井町地域公共交通計画の改定について ・ルート等の見直しについて 4. その他
議事要旨	<p>事務局： それでは ただいまから、第2回垂井町地域公共交通会議をはじめさせていただきます。私は、本日の会議の進行をさせていただきます企画調整課の藤塚と申します。どうぞよろしくお願いいたします。次第に入ります前に、皆様には委員名簿と席次表を配布させていただいております。これをもちまして、委員の皆様のご紹介とさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。また、委員名簿にもありますように、人事異動などによりまして、新たに4名の方に委員をお願いいたしております。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、はじめに、本会議の会長であります片岡副町長が、ごあいさつを申し上げます。</p> <p>副町長： 新年早々、大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。令和初めての正月を迎え、早くも2週間が経過しました。本当に時間が経つのは早いと改めて実感しているところです。うかうかしていると令和元年度はあっという間に過ぎてしまうので、改めて事業の進捗を確認していく必要があると感じています。</p> <p>また、今年は雪もなく、穏やかな正月を迎えられました。今年1年</p>

間がこの正月のように穏やかな一年、安泰の年になることを願っているところです。一方で、年末からインフルエンザが流行っています。今年は暖冬で気持ちのゆるみが起き、体調を崩しやすくなっているのではないかと思います。皆様におかれましては体調を崩されない様十分に注意をしていただき、これからの年度末の忙しい時期を乗り越えていただきたいと思います。

本題の公共交通に関してですが、昨年の6月の会議以降、巡回バスに乗ってまいりました。夏休みの時期だったため、小学生の2人がタルイピアセンターに行くためにバスを利用していました。ありがたい利用の仕方をしていただいていると感じました。その他にも利用者、乗務員の方にお話を伺いましたが、直接意見を聞くことができ非常に有意義な時間となりました。そのときお聞きした意見・要望等が今回の見直し案に反映されていますので安心していきます。

当町の巡回バスのシステムは、誰もが満足する完璧なものではありませんが、様々な意見・要望を真摯に受け止めながら常に改善をしていきたいと思っています。

本日は一年間の自己評価について、また巡回バスの改善についてご協議いただくこととなっています。皆様から忌憚のない意見を頂きたいと思っています。本日はよろしくお願ひしたいと思っています。

事務局： ありがとうございます。それでは、本日の会議の出席者数について、報告させていただきます。15名の委員数のうち、代理出席の方を含め、また1名の方が遅れるということで、現在12名の方に出席をしていただいておりますので、本会議が成立していることをご報告申し上げます。

それでは、次第の二つ目の議事に入りたいと思います。本会議の会議は、設置要綱第4条第1項により、会長が議長を務めることとなっておりますので、会長よろしくお願ひします。

会 長： それでは、議事に入らせていただきます。

令和元年9月で、平成30年10月からの令和元年事業年度が終

了しましたので、その事業評価を行う「令和元年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価」について事務局より説明を求めます。

事務局：※資料に基づき説明

会 長： ただいま事務局から「令和元年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価」についての説明がございました。質問等がございますか。

委 員： 1人の方が行きと帰りで利用される場合、利用者のカウントは2回ということでしょうか。

事務局： その通りです。

委 員： 利用者が増えた理由について高齢化などが挙げられるとありましたが、例えばJRの乗降者数というのはどのように把握しているのでしょうか。大垣に行きたい場合に、タウンバスを使って、垂井駅で降りて、鉄道に乗り換えるというデータというのは取っているのでしょうか。

事務局： この後の路線等の見直しの中でもご説明させていただきますが、垂井駅北口、南口での年間の乗降者数は把握しています。そのデータを見てみますと、再編当初と比較して、かなり乗降者数は伸びています。そのため、巡回バスの運行は、JRの利用の増進に繋がっているのではないかと思います。

会 長： それでは、意見も無いようですので、「令和元年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価」を原案の通り、岐阜運輸支局へ提出することについて、皆さまのご同意をいただけますでしょうか。

委 員： 異議無し

会 長： ありがとうございます。それでは、異議もなかったので、「令和元年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価」は原案の内容において、岐阜運輸支局へ提出させていただきます。

続きまして、報告事項で「垂井町地域公共交通計画の改定」と「ルート等の見直し」については関連がありますので、一括して事務局より説明を求めます。

事務局： ※資料に基づき説明

会 長： ただ今事務局より、計画の改定やルート、ダイヤの見直しについて説明がありました。ご質問等ございましたらよろしくお願ひします。

会 長： 最初のあいさつでお話ししました、利用者の方から直接お聞きした意見と申しますのは、バスから電車に乗り換える時、年寄りには1～2分では乗り換えが間に合わないという意見でした。今回の資料では、その点を改善して頂いています。

委 員： 米原方面の乗り換えのダイヤ変更案が掲載されていますが、こちらをみると、現行よりも乗り継ぎ時間が延びてしまっているところがあります。実際のところ、米原方面に行かれる利用者はどれほどか把握しているのでしょうか。

事務局： 巡回バスから乗り換えて大垣方面に行く人数、米原方面に行く人数を統計的に把握しているわけではございませんが、一般的に垂井から大垣方面に行かれる方が多くなっています。また、大垣方面に行くときの垂井駅の乗り継ぎを改善してほしいという意見を多くの方から頂いています。大垣方面か、米原方面かどちらを重要視するか考えたときに、やはり垂井駅を利用される方は東に向かう方が多いと思いますので、大垣方面への利便性を向上する形で見直しをしていきたいと考えています。もしかしたら見直し後に、米原方面に行きたい方から乗継時間についてのご意見を頂く事はあるかもしれません

が、それらについては継続的に検討をしていきたいと思っています。

会 長： その他、よろしいですか。

それでは、今事務局から説明がありました計画の改定、またはルート・ダイヤ等の変更について、今後も関係機関と協議を進めて参りたいと思います。

以上をもちまして、本日予定しておりました、議事はすべて終了しました。事務局にお返しします。

事務局： ありがとうございます。その他事項として、ご意見がありましたらお伺いさせていただきます。

委 員： 高齢者のタクシー助成制度について、新年度の予算で 300 万円入っていますが、どのような利用状況でしょうか。

事務局： タクシー助成制度では、申込をされた方に対し、500 円券を月に 2 枚、年間にするると 24 枚お渡ししています。当初想定していたよりは申請は少ない状況です。これからまた P R を実施していかなければいけないと思っています。

委 員： 80 歳以上の方が申請できるのでしょうか。

事務局： 85 歳以上です。免許を返納された方等の限定はございません。

事務局： それでは、本日予定をしておりました会議次第はすべて終了いたしましたので、以上をもちまして、本日の会議を閉じさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。